

# プロ野球キャンプ誘致合戦における高知県の敗因と今後の展開

## ～ホークスの事例分析とインタビュー調査～

1170478 真鍋 裕次郎

高知工科大学 マネジメント学部

### 1. 概要

高知県では1980年にプロ野球キャンプの開催ピークを迎え、過去最高で5球団が高知県でキャンプを行っていた。しかし、2016年現在では高知県で1軍キャンプを行っている球団は秋季の短い時期を除いて1球団も無くなってしまった。本研究では、過去に高知県でキャンプを行っていたソフトバンクホークス（当時ダイエーホークス）の事例を分析するとともにホークスで長く裏方を務めている橋本敬司さん、高知県観光コンベンション協会の窪内富男さん並びに高知市役所観光振興課の秋沢さんにインタビューを行い、もう1度高知県に1軍キャンプを誘致するための問題点を洗い出し、高知県が考えている課題と球団が考えている課題との間に生じるギャップを埋めるための改善案を提案する。インタビューの結果、高知県にもう1度1軍キャンプを誘致できる可能性は少なからずあることが分かった。ただそのためには、高知県の施設整備の改善や、球団との関係づくりを高知県が積極的に行う必要がある。

### 2. 背景

1954年に阪急ブレーブスが高知県で最初のプロ野球キャンプを開催してから過去最大で5球団が1軍キャンプを行っていたが、2016年現在では秋季キャンプの短い時期（オリックス・バファローズ）を除いて1軍キャンプを行う球団は無くなってしまった。ソフトバンクホークス（以下ホークス）もそのうちの1つで、1991年から2003年までの11年間、高知県でキャンプを行っていた。

ホークスの1軍がキャンプを行っていたのは高知市営球場で、当時市営球場では、1軍2軍が揃って練習を行える環境ではなく、2軍のキャンプは高知東部球場で行われた。市営球場から東部球場までの移動距離は車でおよそ40分かかり、監督が2軍の選手のコンディションをすぐに確かめることができない点が難点であった。そのため1度は、1軍2軍が揃って練習を行える春野球場での開催を考えるも、春野球場周辺では電照菊を栽培している農家があり、夜間に球場のナイ

ターを使用すると、光の具合で電照菊がきちんと育たなくなってしまうという苦情が挙がったため、1軍は市営球場、2軍は東部球場でキャンプが開催された。

1999年2月、ホークスの球団代表に根元隆夫氏が就任（文献1）。

高知県の施設環境に満足しなかった根本氏が自ら新キャンプ地を探した結果、宮崎県と沖縄県の2県が新キャンプ地の候補に挙がった。宮崎県はキャンプを誘致するために県が農地を買収し、1軍2軍が揃って練習を行える施設を整備した。また、ホークスの拠点が福岡県なので、陸つなぎである宮崎県でキャンプを行うことで、ファンの集客が見込めることなどが決め手となり、宮崎県でのキャンプ開催が決定した。

### 3. 目的

本研究では、ホークスで裏方を務めている橋本敬司さん、高知県観光コンベンション協会の窪内さん、高知市役所観光振興課の秋沢さんにインタビューさせていただき、もう1度高知県に1軍キャンプを誘致できる可能性があるか聞きだすとともに、そのための問題点を洗い出し、両サイドの間に生じる課題のギャップを埋めるための改善案を提案する。

### 4. 研究方法

本研究では、元読売ジャイアンツ投手、現ソフトバンクホークス専属スコアラーである橋本敬司さん、高知コンベンション協会の窪内富男さん、高知市役所観光振興課の秋沢さんにインタビューを行う。インタビューの内容は主に「高知県でキャンプを開催することになったきっかけ」「宮崎県と高知県の比較」「高知県に1軍キャンプを取り戻せる可能性」を開き出すものとし、インタビューから、高知県で1軍キャンプを開催するに当たり現在の高知県が抱えている課題を洗い出し、最後にこのインタビューから見えた課題の解決案を検討する。

### 5. インタビュー内容

高知県では1991年から2003年までの11年間、ホークスが春季キャンプを行っていたが、2011年2月からは宮崎県にキ

キャンプ地を移している。そこで、高知県でホークスのキャンプが始まったきっかけと、宮崎県にキャンプ地を移した理由などを聞き出すため、橋本敬司さんにインタビューさせていただいた。橋本さんに対するインタビューの質問内容は「高知県でキャンプを開催することになったきっかけ」「宮崎県との比較」高知県に1軍キャンプを取り戻せる可能性」の3項目に分け、以下の10問とした。

「高知県でキャンプを開催することになったきっかけ」

- 1) 何故高知県でキャンプが始まったのか
- 2) 何故高知キャンプが無くなったのか
- 3) 高知キャンプが始まった1991年から宮崎県にキャンプ地を移した2011年までの期間に何が起こったのか
- 4) 宮崎県からどのようなアプローチがあったのか  
「宮崎県との比較」
- 5) 高知県、宮崎県の了見でキャンプを行う上での長所、短所
- 6) 高知県から宮崎県にキャンプ地を移すことになった決め手
- 7) 今のキャンプ地に不満はあるか  
「高知県に1軍キャンプを取り戻せる可能性」
- 8) 高知県に1軍キャンプを取り戻せる可能性はあるか
- 9) どのようなところでキャンプがしたいか
- 10) 現在宮崎県以外でキャンプ地として考えているところはあるか

また、高知コンベンション協会、高知市役所の2方に対するインタビューの質問内容は「1軍キャンプの利益」「プロ野球キャンプを誘致するための高知県の取り組み」「1軍キャンプを取り戻すための課題」の3項目に分け以下の7問とした。

「1軍キャンプの利益」

- 1) 10日間しか1軍が参加しないオリックス・バファローズの秋期キャンプに助成金を1千万円出して、高知県に利益はあるのか  
「プロ野球キャンプを誘致するための高知県の取り組み」
- 2) 高知県が5球団のキャンプ誘致を行っていた時期の取り組みはどのようなものか
- 3) 当時と現在の取り組みで変化した点
- 4) 球場付近の農家との共存は出来たのか  
「1軍キャンプを取り戻すための課題」
- 5) 1軍キャンプをもう1度誘致するに当たり高知県が考えている課題は何か
- 6) キャンプ地候補として複数県が上がった場合、県同士によ

る会議はあるか

- 7) 誘致合戦を勝ち抜くために考えている策はあるか

## 6. インタビュー結果

### 6-1 橋本さんに対するインタビュー結果

インタビューの結果は以下のようになった。

「高知県でキャンプを開催することになったきっかけ」

- 1) 何故高知県でキャンプが始まったのか

元々高知県でキャンプを行っていたオリックスが高知キャンプを終了することに伴い、キャンプに適した気温である高知県でキャンプを開始することとなった。

- 2) 何故高知キャンプが無くなったのか

宮崎県でのキャンプが決定したため。

宮崎県はホークスの拠点である福岡県から陸続きなので、ファンの集客が見込め、選手を人目に晒して練習させることが出来るので、選手に刺激を与えることが出来ることと、1軍2軍が揃って練習できる環境だったので、監督が選手のチェックをやすく練習の入れ替わりがスムーズに出来ることなどから、宮崎県でのキャンプが決定したため高知県のキャンプが終了した。

- 3) 高知キャンプが始まった1991年から宮崎県にキャンプ地を移した2011年目での期間に何が起こったのか

1991年に高知県でキャンプが始まった8年後の1999年に根本隆夫氏が球団代表に就任した。根本氏は自ら新キャンプ地候補を探し、宮崎県を新キャンプ地として選んだ。2011年に宮崎県にキャンプ地を移す手配が整い、宮崎県にキャンプ地を移した。

- 4) 宮崎県からどのようなアプローチがあったのか

キャンプのオファーは特に無かった。

「宮崎県との比較」

- 5) 高知県、宮崎県両県でキャンプを行う上での長所と短所はなにか

高知県は市営球場から街までの距離が近かったため、すぐに買出しに行ける事が長所として挙げられ、1軍2軍が揃って練習できないことと、雨天練習場が無いことが短所として挙げられた。宮崎県は球場の設備が整っていたので、1軍2軍が揃って練習でき、雨天時でも十分な練習が出来ることと、拠点である福岡県から陸続きなのでファンの集客が増したことが長所として挙げられ、球場から街までの距離が遠いためすぐに買出しに行けないことが短所として挙げられた。

6) 高知県から宮崎県にキャンプ地を移すことになった決め手  
陸続きのためファンの集客が見込めたこと。

当時は高知県までの高速道路が整備されておらず、本拠地のある九州からのファンを高知キャンプに集客することは難しかった。対して宮崎県は2016年の春季キャンプで35万人集客している。ファンを多く集客することで選手は常に見られている意識を持つので、見られてなんぼの商売であるプロ野球選手としてのプロ意識を向上させることが出来るという利点が宮崎県にキャンプ地を移す決め手となった。

7) 今のキャンプ地に不満はあるか

特に無い。

「高知県に1軍キャンプを取り戻せる可能性」

8) 高知県に1軍キャンプを取り戻せる可能性はあるか

少なからずあるが、施設の整備や、球場付近の農家との共存を高知県が積極的に行わなければ達成し得ない。特に施設面で他見に勝るものを作らなければキャンプ地候補として挙がってこない。宿泊施設の数は充分あるのでキャンプが開催されても間に合う。

9) どのようなところでキャンプがしたいか

個人的な意見になるが、食べ物のおいしい県はやはり魅力的である。

10) 現在宮崎県以外でキャンプ地として考えている県はあるか

現在は無い。

## 6-2 窪内さん、秋沢さんに対するインタビュー結果

インタビューの結果は以下のようになった。

「1軍キャンプの利益」

1) 10日間しか1軍が参加しないオリックス・バファローズの秋季キャンプに助成金を1千万円出して、利益はあるのか

野球キャンプの利益は集客したファンにより発生する利益と、マスコミ関係者によって発生する利益がある。マスコミ関係者によって発生する利益は、スポーツ新聞や全国紙を使い、キャンプ情報と共に高知県のイベントや特産物を取り上げられた場合に発生するもので、経済効果は非常に大きい。

また、高知県観光コンベンション協会に協力を頼み、集客したファンによって発生する利益を算出していただいた資料が以下の通りである。

資料 1. 県観光コンベンション協会「プロスポーツキャンプ等調査」によるオリックス・バファローズ秋季キャンプ県外観

光客の経済波及効果

平成27年秋季キャンプ(11/1~20) \*11/5、11、16休

入込数 8,970人 (球団広報発表)

○「平成27年度調査」を元にした想定

・県外客の割合…80%

・1人当たり県内平均消費額…18,523円

$8,970人 \times 80\% \times 18,523円 = 132,921,048円$

○「平成26年度調査」を元にした想定

・県外客の割合…70%

・1人当たり県内平均消費額…15,109円

$8,970人 \times 70\% \times 15,109円 = 94,869,411円$

○「平成25年度調査」を元にした想定

・県外客の割合…89%

・1人当たり県内平均消費額…17,645円

$8,970人 \times 89\% \times 17,645円 = 140,865,329円$

この資料を見て分かるように、プロ野球キャンプが直接もたらす経済波及効果はかなり大きなものと言え、この数字が1次効果、高知の特産物を購入するや、ガソリンを入れるなどの2次効果をプラスすると1.52倍の経済波及効果が見込めることになる。また、球団関係者が宿泊するホテルには1軍で1人当たりおよそ25,000円の宿泊費が丸々落ちるので、宿泊施設への貢献も高いと言える。

「プロ野球キャンプを誘致するための高知県の取り組み」

2) 高知県が5球団のキャンプ誘致を行っていた時期の取り組みはどのようなものか

5球団誘致していた時期は、球団との関係づくりをコンベンション協会(当時観光連盟)が行い、キャンプ期間中はキャンプが開催される各市町村が球団のニーズに応えるために動いていたので、球団ごとに対して取り組みが異なり、各市町村の取り組みは当時の資料が残っていないため詳しい取り組みは分からない。

3) 当時と現在で取り組みが変わった点

当時の取り組みと大きく変わった点は2つあり、1つ目はプロ野球のキャンプは経済効果が大きいので、コンベンション協会から球団に対してキャンプ内容に応じ助成金を支払うようになったこと。内容は1、2軍合わせて15日以上キャンプを行い、そのうち10日以上1軍がいればコンベンション協会から1千万円の助成金を球団に支払うといった形のもので

ある。もう1つは施設整備の改善である。春野球場、東部球場に雨天練習場を高知県が設立し、野球の練習器具を補充するなど、球場整備を進めることでプロ野球キャンプを支援している。

#### 4) 球場付近の農家との共存は出来たのか

当時は球場付近で電照菊を栽培していた農家がいたのでナイターの使用ができなかったが、その後、高知県からの要望により、農家の理解も深まったことで事前に県から農家に連絡するとナイターの使用が許可されるようになった。

「1軍キャンプを取り戻すための課題」

#### 5) 1軍キャンプをもう1度誘致するにあたり、高知県が考えている課題は何か

大前提としてハード面である球場の施設整備を行うこと。目標はメイン球場、サブ練習場、雨天練習場が揃った球場を作ることだが、キャンプシーズン以外で集客が見込めるシステムを共に作らなければ維持することができないので、キャンプ時以外の集客が見込めない現状では厳しい状況にある。ソフト面では第一に球団がキャンプを行いやすい状態を作るための支援が必要。キャンプが開催すると球団に張り付いて球団の要望に応じているが、これから、1軍キャンプを取り戻すには、高知県が球団側をもっともてなせる体制を作り上げていく必要がある。

#### 6) キャンプ地候補として複数県が挙げた場合県同士の会議はあるか

全くない。やり取りは球団との間でのみ行われ、どれだけ先手を打って球団と交渉できるかにかかっている。故に球団との関係作りは非常に重要である。また、ソフトバンクホークスの根本氏の例は稀で、基本は県側から球団にアプローチをかけてキャンプ誘致が決まる。

#### 7) 誘致合戦を勝ち抜くために考えている策はあるか

メインの1次キャンプが終わったのちに高知県で2次キャンプとしてキャンプを開催してもらおう策を考えている。こうすることで、キャンプ地から本拠地に帰るまでにワンクッションおけるので選手の故障率低下にも繋がり1度に数球団を誘致できるので、球団同士での練習試合もでき、それに伴った集客も見込める。ただ、2次キャンプが根付くまでにかなりの売込みが必要となるため、さらなる、人的、資金的な支援が必要となる。

## 7. 考察

今回の2件のインタビューを通して分かったことは、高知県が積極的に球団にアプローチを仕掛けなければもう一度高知県に1軍キャンプを誘致することは達成し得ず、他県と比較された場合施設面で劣る高知県はどうしても第1候補として挙がることは難しい状況にあるということである。1度は5球団を誘致していたものの、他県からのアプローチに勝る魅力づくりができず、施設の老朽化や球場付近の農家との共存策を迅速に改善することができなかったことがキャンプ誘致合戦に敗れた要因であると考えられる。高知県が考える課題と、球団が考える課題の間に大きなギャップは見つからなかったが、キャンプ誘致は球団側と県側の信頼関係からなるものなので、1度誘致していた時期に与えてしまった印象を回復させることは難しく、結果的に第2章で述べたような状態に陥っていると言える。

しかしながら、橋本さんのインタビューから高知県が積極的に球団側にアプローチできる体制、魅力的な策を整えればもう1度高知県に1軍キャンプを開催できる可能性は大にあることが分かった。このことからキャンプ誘致合戦を制するには高知県の施設環境、球団にとっての魅力不足に問題があると考えられる。もう1度1軍キャンプを取り戻すには、この問題を改善する必要がある。

## 8. 問題点と改善案

今回のインタビューから見える1軍キャンプを取り戻すための問題点としては、主に施設面の整備、球団に対して魅力を感じさせられる策の計画、実施、球団との関係づくりの3点が挙げられる。

### ○施設面の整備についての改善案

インタビューの結果から、プロ野球のキャンプ場はメインスタジアム、サブスタジアム、雨天練習場の3点が揃っていることが理想だとわかる。このことから、最終的には高知県にその3点が揃った施設を整備することが必要になる。しかしながら、すぐにその設備を整えることは難しい。そこで、それまでは比較的すぐに取り掛かることの出来る雨天練習場を優先して整備していくことが先決だと考えられる。

### ○魅力的な策の計画、実施についての改善案

現在の高知県の施設整備では他県に劣ってしまうので、球団に魅力を感じさせられる策を練らねばならない。現在高知県が考えている策は2次キャンプ地として高知県に球団を誘致することである。こうすることで選手の体調管理を行いや

すくなることと、設備が劣っていても2次キャンプ地としてなら問題が解決できる利点がある。2次キャンプが成功すればさらなる施設整備が見込めるので結果的に高知県で1次キャンプを開催できる可能性が上がるのが予想される。

#### ○球団との関係づくりについての改善案

キャンプを誘致する際には県から球団に営業を行い、最終的に球団側がキャンプの開催地を決定する。このことから、球団との関係づくりが重要になる。1度高知県でキャンプを行い他県へキャンプ地を移した球団へ与えた印象は施設面では決してよくないものだが、食の面では好印象を与えていることが分かった。そのことから、施設面は整備を進め、食の面と2次キャンプ策で営業をかけることが効果的と考えられる。

## 9. 結論

1軍が参加するプロ野球キャンプは高知県に大きな経済波及効果があり、もう1度1軍キャンプを誘致するために高知県の行政が策を練っていることが分かった。しかしながら資金面の問題から施設整備はすぐに行えるものとそうでないものが出てきてしまう。そのため高知県が球団側にすぐに行える営業は高知の食事面を売りながら2次キャンプにつなげることとなる。2次キャンプが成功すれば複数の球団を同時に誘致することができるので、球団同士で高知県を売り込んでもらえる可能性があり、結果1次キャンプにもつながると考えられる。そのため、もう1度1軍キャンプを取り戻せるかどうかは2次キャンプ策の成功にかかっており、そのために今後高知県がすべきことは2次キャンプを成功させるための施設整備と球団への積極的なアプローチではないだろうか。

## 参考文献

1 福岡ソフトバンクホークス株式会社

「熱男 2016 MEDIA GUIDE 2016 SoftBank HAWKS FUKUOKA」